

単価契約積算資料作成作業における 「設計単価表の単価設定」変更のお知らせ

令和5年度から単価契約で積算資料作成作業を実施しているところですが、この度、**手戻り作業の削減を目的**として、設計単価表の単価を一律100円とする従来の運用から、**「±10%ランダム設定(毎月更新)」**とする試行運用を開始します。

1. 従来運用の課題

- ・単価が一律100円となっているため、**実際の予算との間に乖離が発生し、受発注者ともに手戻り作業が発生**
- ・**工種毎の概算額の把握が困難で、積算スキル向上の障壁**

2. 変更内容

- ・設計単価表に掲載されている各単価に対し、**「±10%(整数)」の範囲でランダムに補正した単価**を適用
- ※全体に一律の補正值を適用するのではなく、それぞれの設計単価表の単価に対しランダムに補正值を適用
- ・【更新】補正単価は**毎月更新**

3. 期待される効果

手戻り作業の削減(業務の効率化)

実際の単価に近い値(±10%の補正值)が適用されるため、成果品の工事費と予算との乖離が大幅に縮小

→**成果品の修正作業が大幅に減少**

→**受注者の積算スキルの向上**

4. 試行運用期間

令和8年10月1日～令和9年3月31日

※ 本運用前に試行運用状況を効果・検証